

山梨県文学館協議会資料

平成24年12月7日(金)

山梨県立文学館

目次	ページ
山梨県文学館協議会名簿	1
山梨県附属機関の設置に関する条例 他	2
山梨県立文学館組織図	3
SPSやまなし組織体制図	4
山梨県立文学館活動報告(概要)	5
施設利用状況	6
観覧者数の推移	7
企画展等一覧	9
教育普及事業について	10
資料情報課事業一覧	16
指定管理者活動報告	19
指定管理者の指定期間の満了に伴う諸手続きについて	21
文学館の基本理念(案)について	別添
文学館関係者の行動規範の策定について	別添

## 山梨県文学館協議会委員名簿

任期:平成23年9月29日～平成25年9月28日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	やじま たがひろ 矢島 孝浩	県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係(甲斐市教育委員長)
"	かみな 上名 をさみ	県社会教育委員代表	社会教育関係(山梨県社会教育委員)
"	のうの はつみ 濃野 初美	山梨文芸協会委員	学識経験者(山梨文芸協会事務局長)
"	むこうやまふみと 向山 文人	報道関係	学識経験者(山梨日日新聞社論説委員長)
"	うえまつ ゆうじ 植松 裕二	報道関係	学識経験者(テレビ山梨放送本部・報道制作局長)
"	やまかげ たいすけ 山影 泰輔	報道関係	学識経験者(NHK甲府放送局副局長)
"	いけだ なたか 池田 尚隆	山梨大学教授	学識経験者
"	わたなべ きゆうじ 渡辺 久壽	山梨英和大学教授	学識経験者
"	かずの つよし 数野 強	元山梨県教育長	学識経験者(山梨ことぶき勸学院学院長)
"	うえの みほこ 上野 美穂子	主婦	家庭教育関係者
"	しみず あやこ 清水 章子	主婦	家庭教育関係者
"	おとぐろ ゆきえ 乙黒 幸江	前中央市立玉穂生涯学習館館長	家庭教育関係者
任命	きとう きみこ 佐藤 喜美子	県公立小中学校長会代表	学校教育関係(笛吹市立春日居中学校長)
"	しみず とおる 清水 澄	県高等学校長協会代表	学校教育関係(上野原高校校長)

○ 山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事（教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。）が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

（会長等）

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1（第2条、第4条関係）

2 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	定数	委員の要件	任期
山梨県立美術館協議会	博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	15人以内	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者	2年
山梨県文学館協議会	博物館法第二十条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務			

○ 山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠の委員の任期）

第2条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長を置く。

（庶務）

第12条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

（委任）

第13条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○ 博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第20条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

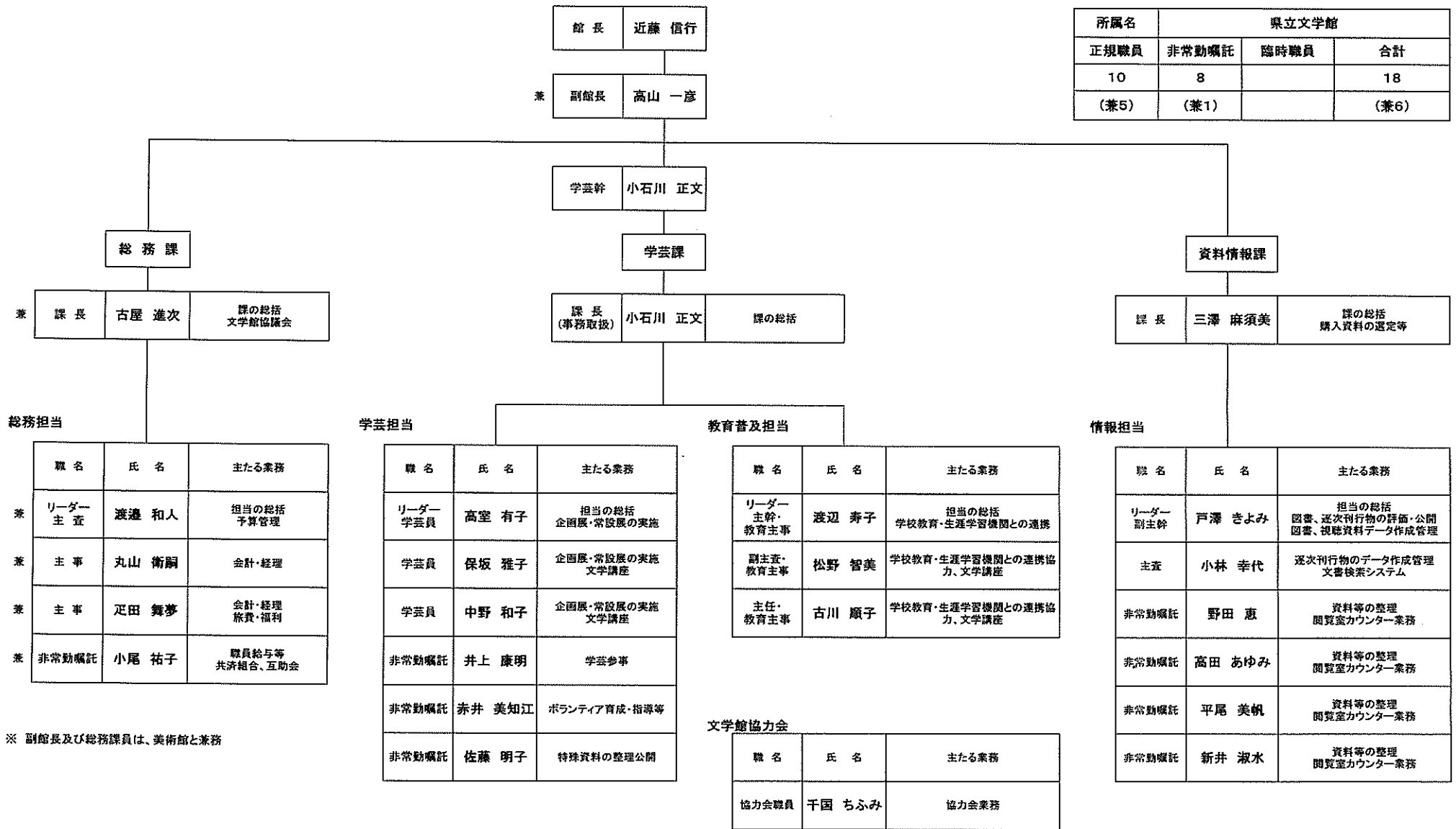
2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に應ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第22条 博物館協議会の設置、その委員の定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

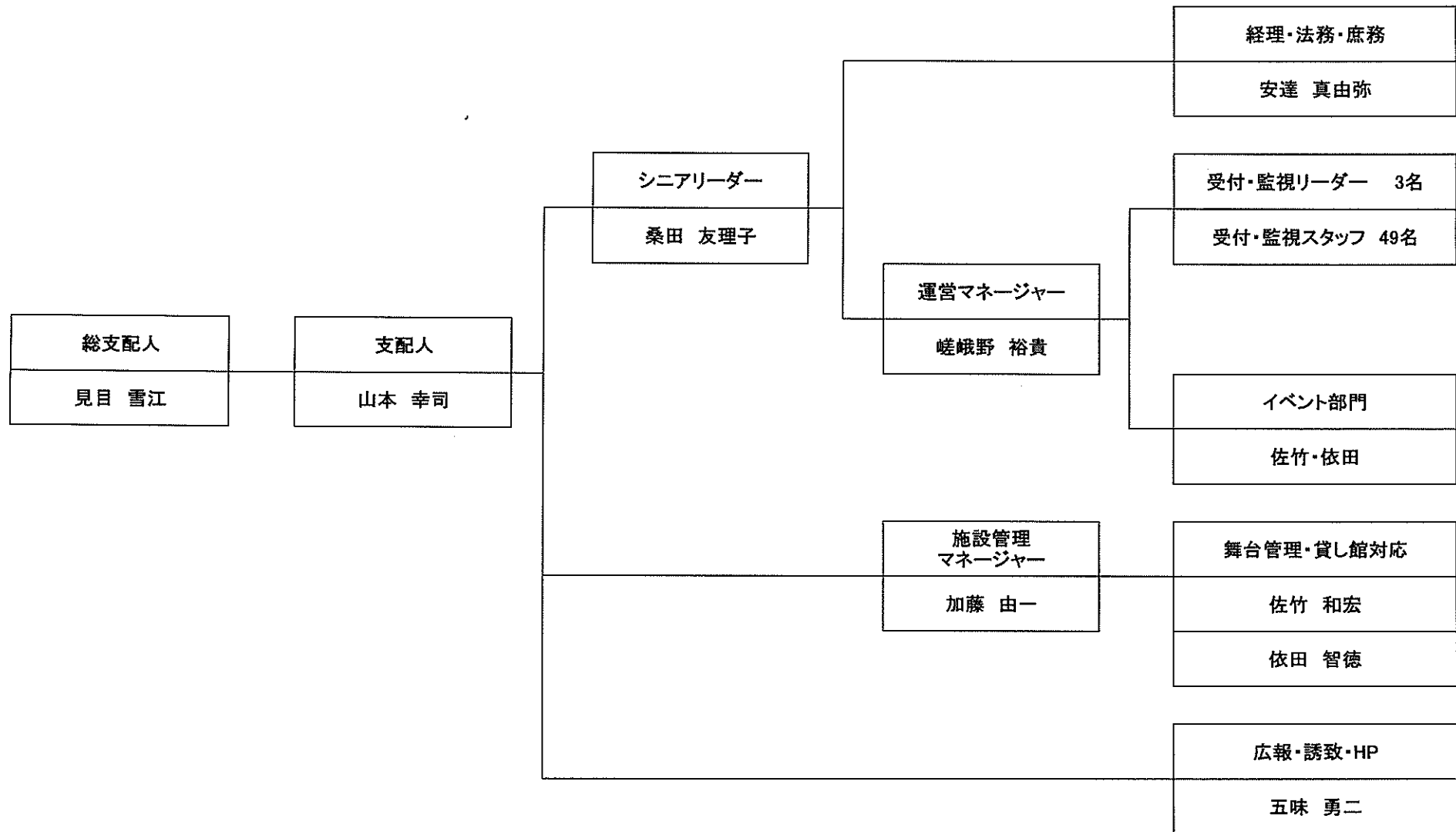
文学館組織図

所属名	県立文学館		
正規職員	非常勤嘱託	臨時職員	合計
10	8		18
(兼5)	(兼1)		(兼6)



※ 副館長及び総務課員は、美術館と兼務

指定管理者組織図(SPSやまなし)



スタッフ

9

+

受付・監視

52

= 61 名

## 山梨県立文学館活動報告(概要)

### 本館に求められるもの

県民の価値感の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求めて、文化活動に対する質の向上やニーズも一段と高く、幅広いものとなってきている。このような中、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、次のものが求められている。

【展示/見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展や特設展と、山梨県出身、ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及/学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【資料情報/収集・保存・公開】山梨県にゆかりのある作家の作品(資料)を収集保存し、活用する。

【付加価値・魅力/たのしみ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

- 平成24年度は、山梨県立文学館のあるべき姿や求められる姿を考究すべく、「基本理念」を再確認するとともに、来年、本県で全国初の通年開催される「国民文化祭」も視野に、さらに魅力ある展示を実施、解説に力を入れるなど積極的な情報発信を行っていく。

### 平成23年度の活動

#### 【展示/見る】(魅力ある展示へ)

(常設展) 年四回展示替え ①作家の愛用品 4/1~6/26 ②作家と家族 6/28~10/2  
③八木義徳生誕百年 10/4~12/25 ④檀一雄生誕百年 12/27~3/25

第1室 山梨の文学風土(甲斐のうた) 樋口一葉(朗読コーナー)

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代 2.1作家のコーナー

第3室 芥川龍之介 生涯(誕生・少年時代・作家として・晩年) 書画・俳句・山梨との関わり  
朗読コーナー

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室 人生をたどって 季節毎の展示替え

第5室 前期(9月まで) 小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡  
後記(3月まで) 詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

収蔵品展 年度収蔵品資料を中心に展示紹介(年度末) 2/2~3/21

(企画展) 春「文芸映画のたのしみ」4/29~6/19・秋「深沢七郎の文学」9/10~11/6

(夏休み展示) 特設展 手紙を書こう 7/23~8/28

(特設展) 樋口一葉と甲州 11/19~12/25

#### 【教育普及/学ぶ・創る】(文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供)

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

○常設展示室内の飯田蛇笏・飯田龍太記念室に関して創作教室実施

(活動内容)

春秋の企画展関連講演会・関連朗読公演会・座談会・講座・教師のための学習会 文学散歩2回

子ども映画会・ワークショップ 年間文学講座 名作映画鑑賞会 大人・子ども俳句教室

読書会(協力会) お話の森朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターン  
シップ 文学解説、各種講師派遣事業 館長トーク(予定)

(第20回やまなし文学賞) 小説・研究評論2部門で実施予定 11月末締め切り H24年3月発表

#### 【資料情報/収集・保存・公開】(資料の保存と公開)

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供

○閲覧室資料紹介・映画に魅せられた作家たち・文豪からのおくりもの一子どもたちへー 深沢七郎の世界・芥川賞、直木賞と山梨の作家たち

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介・飯田蛇笏・山本周五郎・飯田龍太・辻邦生・山崎方代

・中村星湖・芥川龍之介

○特設展関連資料紹介・樋口一葉

○県立美術館特別展関連資料紹介 美術館から文学館への誘客を図り展示内容への理解・関心をさらに深める機会とする 川端康成の世界 浅川伯教・巧兄弟

○書庫見学 6/18:35人 11/20:72人

#### 【付加価値魅力/楽しむ】(魅力ある文学館)

協力会員による常設展の解説ボランティアを育成・実施(6名・新規応募2名研修中)

芸術の森公園アートツアー(SPSやまなし自主事業)ミュージアム甲斐in(会員)募集事業

県観光推進機構との連携等による積極的な広報

### 平成24年度の活動

#### 【展示/見る】(魅力ある展示へ)

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

(常設展) 年四回春夏秋冬展示替えに加え、次の資料を期間限定公開

①井伏鱒二「本日休診」原稿②芥川龍之介回覧雑誌③太宰治「陰火」原稿④芥川龍之介「河童」草稿⑤伊藤左千夫他「貼り交ぜ屏風」⑥鍋木清方「大黒屋の美登利」⑦森嶋外「灰燼」原稿⑧室生犀星「かげろふの日記遺文」原稿

第1室 山梨の文学風土(甲斐のうた) 樋口一葉(朗読コーナー)

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代 2.1作家のコーナー

第3室 芥川龍之介 生涯(誕生・少年時代・作家として・晩年) 書画・俳句・山梨との関わり  
朗読コーナー

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室 人生をたどって 季節毎の展示替え

第5室 前期(9月まで) 小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡  
後期(3月まで) 詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

(国民文化祭共催事業 文学館至宝展)(年度末) 1月~3月

(企画展) 春「企画展石川啄木 愛と悲しみの歌」4月~6月

(夏休み展示) 夏休み特設展「フランダーズの犬」7月~8月

(秋の特設展)「歿後50年 飯田蛇笏展」9月~11月

#### 【教育普及/学ぶ・創る】(文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供)

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

○入門のための文学創作教室実施(7月 小説・2月 短歌教室)

(活動内容)

春の企画展、秋の特設展関連講演会・朗読公演会・鼎談・講座・教師のための学習会 文学散歩2回

子ども映画会・ワークショップ 年間文学講座 名作映画鑑賞会 読書会(協力会) お話の森朗読会  
チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターンシップ

文学解説、各種講師派遣事業 館長トーク 移動文学館 ㊟リーディングシアター2012in 文学館  
(第21回やまなし文学賞) 小説・研究評論2部門で実施予定 11月末締め切り H25年3月初め発表

#### 【資料情報/収集・保存・公開】(資料の保存と公開)

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供

○閲覧室資料紹介・石川啄木の世界・みんなで読もう世界の名作・飯田蛇笏歿後50年・やまなし文学散歩

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介・木々高太郎・太宰治・飯田龍太・辻邦生・山崎方代・檀一雄・芥川龍之介

○書庫見学 6/16:41人 11/20:(県民の日71人)

#### 【付加価値魅力/楽しむ】(魅力ある文学館)

協力会員による企画展・常設展の解説ボランティアを実施・育成

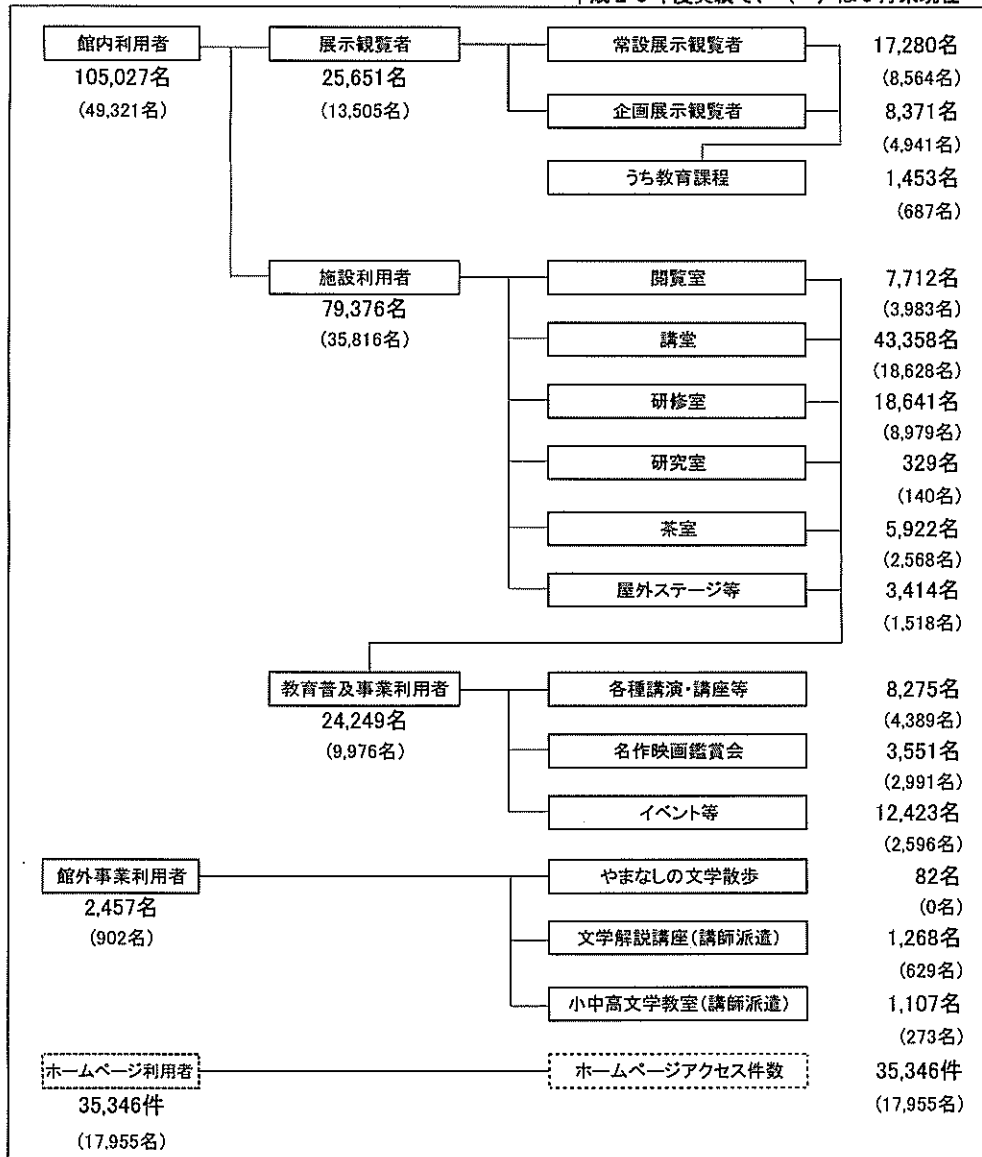
芸術の森公園アートツアー(SPSやまなし自主事業)ミュージアム甲斐in(会員)募集事業

J R・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

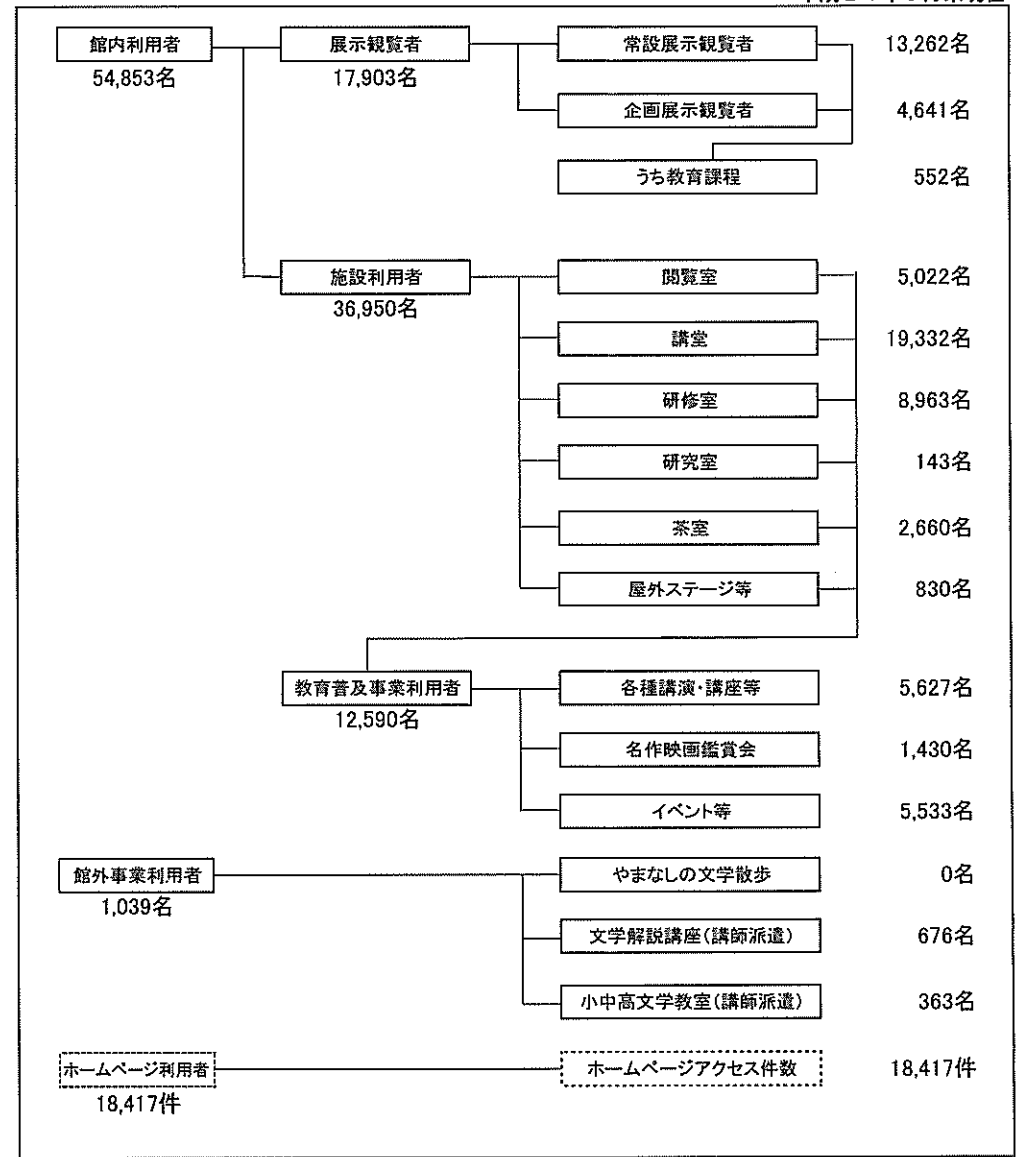
# 文学館「利用者」の状況

○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

平成23年度実績で、( )は9月末現在



平成24年9月末現在



文学館の観覧者数の推移について

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	161	13,262	4,641	17,903
計	6,704	661,401	335,909	997,310

平成24年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,602	62
5	27	2,373	88
6	27	1,825	68
7	27	1,714	63
8	28	4,119	147
9	26	1,629	63
10			
11			
12			
1			
2			
3			
計	161	13,262	82

平成23年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	864	33
5	26	1,960	75
6	26	1,194	46
7	26	1,389	53
8	27	1,986	74
9	26	1,171	45
10			
11			
12			
1			
2			
3			
計	157	8,564	55

前年比 154.9%

平成24年11月3日に観覧者合計が100万人を達成しました。



特設展観覧者数

年度	名称	会期	日数	観覧者数
H2	山梨と高浜虚子	H2.10.13~H2.11.18	33	8,785
H3	辻嵐外と嵐外十哲	H3.4.27~H3.6.2	33	8,996
	たけくらべの世界	H3.7.16~H3.8.25	36	10,378
	映画と文学	H3.10.22~H3.12.1	36	9,814
	文学者の顔面と年賀状子規がいて、漱石がいて、さうして…	H4.1.8~H4.2.2	22	2,327
H4	新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」	H4.4.8~H4.6.2	48	12,152
	佐野四郎の世界—富士見ゆるの丘より	H4.6.3~H4.8.4	54	6,650
H5	やまなしの自然と文学	H5.6.19~H5.8.22	56	6,973
	五味可都里と蟹守の周辺	H5.8.24~H5.10.24	53	8,648
	芥川龍之介 草稿の世界	H5.10.30~H6.1.30	66	8,876
	野尻抱影 書簡の世界	H6.2.5~H6.4.10	51	5,519
H6	歌人の手紙	H7.3.4~H7.4.16	33	4,220
H7	やまなし文学賞の受賞者たち	H7.7.29~H7.9.17	44	3,756
	中村星湖への手紙	H7.12.2~H8.2.18	56	3,324
H8	『豹・レオパード』の詩人たち—宮田桐夫資料より—	H8.6.11~H8.7.7	24	1,861
	蛇笏山脈の人—西島斐南・松村蒼石・榎本虎山—	H8.11.27~H9.2.16	57	3,629
H9	芥川龍之介の草稿	H9.7.19~H9.9.15	55	5,932
	村松定孝氏収集	H10.1.8~H10.2.15	32	1,274
H10	児童文学—山梨ゆかりの作家群—	H10.7.18~H10.9.13	50	3,778
	鳴山草平資料	H11.1.23~H11.2.21	23	757
H11	山岳関連名著展—百瀬舜太郎コレクションより—	H11.7.13~H11.8.29	41	4,202
H12	脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎	H12.7.18~H12.8.27	34	2,019
	山梨の文芸誌—大正から昭和初期	H13.1.2~H13.2.18	42	1,068
H13	やまなしの児童文芸—「赤い鳥」「金の船」「金の星」「童話」を中心に—	H13.7.17~H13.9.2	41	2,086
	山梨の文芸誌—戦後から現代まで—	H14.1.2~H14.2.17	41	1,121
H14	足立源一郎『日本の山旅』スケッチ画と山の文学	H14.6.18~H14.9.1	66	4,013
H15	山梨の農民文学	H15.7.19~H15.8.31	38	1,947
H16	山崎方代 歌と書の世界	H16.4.29~H16.5.30	27	2,862
H17	山梨のアラギ派歌人展「伊藤左千夫・三井甲之・神奈桃村・岡千里・日原無限を中心に」	H17.7.23~H17.8.31	34	1,393
H18	「赤毛のアン」の世界へ	H18.7.22~H18.8.27	33	4,138
H19	天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	H19.7.21~H19.8.26	33	4,100
H20	すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」	H20.7.19~H20.8.24	32	2,909
H21	H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま」青い瞳の涙—	H21.7.18~H21.8.23	30	3,027
	収蔵名品展（常設展示室リニューアル工事中で常設展観覧料で観覧した）	H21.12.2~H22.2.28	44	3,007
H22	くじらぐもからテックタックまで—国語教科書にのったお話し原画展—	H22.7.25~H22.8.29	31	10,495
H23	手紙を書こう 作家の手紙をお手本に	H23.7.23~H23.8.28	35	2,686
	樋口一葉 山梨への手紙	H23.11.19~H23.12.25	32	2,127
H24	フランダーズの犬	H24.7.21~H24.8.26	33	5,034
	飯田蛇笏展	H24.9.29~H24.11.25	53	6,553
	文学館至宝展（富士の国やまなし国文祭共催事業）	H25.1.14~H25.3.17	54	

収蔵品展観覧者数

年度	名称	会期	日数	観覧者数
H4	新収蔵品展	H5.3.2~H5.3.24	20	2,831
H6	新収蔵品展	H6.7.23~H6.9.18	49	6,954
H7	新収蔵品展	H8.3.2~H8.3.17	15	1,059
H8	収蔵品展	H9.3.16~H9.4.13	24	2,865
H9	収蔵品展	H10.3.7~H10.4.12	32	12,432
H10	収蔵品展	H11.3.2~H11.3.22	19	870
H11	収蔵品展	H12.3.7~H12.4.2	24	1,093
H12	収蔵品展	H13.3.6~H13.4.1	23	1,044
H13	収蔵品展	H14.3.5~H14.3.31	23	859
H14	収蔵品展	H15.1.2~H15.3.30	75	2,879
H15	収蔵品展	H16.1.2~H16.3.28	74	10,980
H16	収蔵品展	H17.1.2~H17.3.27	72	2,369
H17	収蔵品展	H18.1.17~H17.3.26	60	2,273
H18	収蔵品展	H19.1.16~H19.3.25	60	1,834
H19	収蔵品展	H20.1.22~H20.3.30	60	2,667
H20	収蔵品展	H21.1.20~H21.3.29	59	2,313
H21	収蔵名品展（特設展示として）	H21.12.2~H22.2.28		
H22	収蔵品展	H23.1.19~H23.3.27	59	2,958
H23	収蔵品展	H24.2.2~H24.3.21	43	2,403

60,683

※ 特設展は常設展観覧券で観覧するため、公表してきた観覧者数には含まれていなかった。

※ 新収蔵品展は無料で観覧できるため、公表してきた観覧者数には含まれていなかった。

ただし、両展とも入り口でカウントしていた。

今後発表する観覧者数には、両展の観覧者を反映させていくこととします。

両展合計 243,119

平成24年度 企画展・特設展など(実績と予定)

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	企画展 石川啄木 愛と悲しみの歌	平成23年4月29日(金) ～6月19日(日)	52日間	4,641人	岩手県に生まれた歌人・詩人の石川啄木が、26年と2ヶ月の短い生涯を閉じて今年で百年を迎えます。文壇に認められない失意の生活の中で、貧苦と挫折を超えて、その心境を詠み込んだ三行書きの口語短歌は、現代も愛称される名作が多く、独自の鮮烈な詩情に溢れています。短くも激しい啄木の生涯と、作品の世界を顕彰すると共に、歿後百年を経た今なお読み継がれる魅力に迫りました。	自主企画
2	夏の特設展 フランダースの犬 愛と友情の物語	平成24年7月21日(土) ～8月26日(日)	33日間	5,034人	少年ネロと愛犬パトラッシュの深い絆を描いた「フランダースの犬」は140年前にイギリスで書かれたお話ですが、甲府市出身の児童文学者徳永寿美子や村岡花子も翻訳を手がけています。感動の名作を、物語の背景や挿絵を交えながら、わかりやすくご紹介し、夏休み中、親子で楽しんでいただきました。	自主企画 ・常設展の一環として開催
3	秋の特設展 歿後50年 飯田蛇笏展 くろがねの秋の風鈴鳴りにけり	平成24年9月29日(土) ～11月25日(日)	53日間	(6,553人)	東八代郡境川村(現笛吹市)に生まれ、大正から昭和にかけての近代俳句史に大きな足跡を残した飯田蛇笏が、亡くなって50年を迎えます。改めてその作品の魅力を振り返りました。	自主企画 ・常設展の一環として開催
4	富士の国やまなし国文祭共催事業 文学館至宝展	平成25年1月14日(月) ～3月17日(日)	54日間	—	1月に開幕する「富士の国やまなし国文祭」の共催事業として開催します。文学館がこれまで収蔵してきた資料の中の逸品を展示します。	自主企画 ・常設展の一環として開催

【平成23年度 教育事業について】平成24年3月末日現在

1. 企画展関連事業

- (1) 春の企画展 平成23年4月29日(金)～6月19日(日)  
「文芸映画のたのしみ 谷崎潤一郎・泉鏡花・川端康成・三島由紀夫・・・」

企画展関連事業

月日	事業名	演題	講師	参加者数
5/7 (土)	講演会	「小沢昭一的 映画のこころ」	講師 小沢昭一(俳優) 開き手 遠藤三郎 (元映画監督)	510人
5/22 (日)	文学講座	「映画館が教室だった」 文学講座「映画に魅せられた作家たち」	畑 三郎(映画史研究家) 中野和子(当館学芸員)	60人
6/2 (木)	教師のための学習会		中野和子(当館学芸員)	20人

\*この他、企画展関連映画5本を上映(名作映画鑑賞会で再掲)

- (2) 秋の企画展 平成23年9月10日(土)～11月6日(日)  
「深沢七郎の文学「楳原節考」キターの調べとともに」

企画展関連事業

月日	事業名	演題	講師	参加者数
9/27 (火)	教師のための学習会		保坂雅子(当館学芸員)	20人
10/1 (土)	講演・対談	「深沢七郎の文学 そこに秘められたもの」 文学講座「山梨にのこる深沢七郎の足跡」	京谷秀夫(元中央公論社編集者) 近藤信行(当館館長) 保坂雅子(当館学芸員)	145人
10/16 (日)	講演	「奇跡の文学」	中沢新一(思想家・人類学者)	400人
10/22 10/30	深沢七郎ゆかりの地をめぐる文学散歩		NPO協働事業	82人

2. 特設展関連事業

夏の特設展 「手紙を書こうー作家の手紙をお手本に」

特設展関連事業

月日	事業名	講師	参加者数
7/24 (日)	「暑中見舞いの書き方教室」	杉野文香(青少年ベンフレンドクラブアドバイザー)	51人
8/3・4 (水・木)	「絵手紙教室」	美・文教育主事	148人
8/19 (金)	手紙に使える消しゴムはんこ作り	高橋裕子(青少年ベンフレンドクラブアドバイザー)	50人

3. 教育普及事業(企画展・特設展を除く)

(1) 年間文学講座

期間	事業名	演題	講師(職名)	参加者数	
5/19 6/16 7/14 8/18	文学講座1(全4回)	研修室 テーマ「甲州と能・狂言」 木曜日 14:00～15:30	橋本朝生 (山梨大学 教育人間科学部教授)	826人	
9/15 10/13 11/17 12/15	文学講座1(全4回)	研修室 テーマ「藤原道長と紫式部」 木曜日 14:00～15:30	池田尚隆 (山梨大学 教育人間科学部教授)		
5/14 6/19 7/2 8/6 9/3 10/8 11/26 12/17	文学講座2(全8回)	研修室 テーマ「『太平治』の芸術と実生活 -〈事実〉と〈真実〉の間で-」 土曜日 14:00～15:30	小菅健一 (山梨英和大学教授)		976人
6/23 8/25 10/27	文学講座3(全3回)	研修室 山梨の文学 木曜日 14:00～15:10	文学館職員		169人

(2) 名作映画鑑賞会

月日	題名	原作者	参加者数
4/24 (日)	春の企画展関連映画①「砂の器」	原作 松本清張 監督 野村芳太郎	485人
5/15 (日)	春の企画展関連映画② 「洲崎バラダイス 赤信号」	原作 炭木好子 監督 川島雄三	320人
5/29 (日)	春の企画展関連映画③「細雪」	原作 谷崎潤一郎 原作 市川崑	507人
6/5 (日)	春の企画展関連映画④「古都」	原作 川端康成 監督 市川崑	500人
6/12 (日)	春の企画展関連映画⑤「彼岸花」	原作 里見弴 監督 小津安二郎	500人
7/16 (土)	美術館との連携事業1「ムーミンの映画」		206人
7/31 (日)	アニメ映画会「アンデルセン物語」		100人
8/21 (日)	アニメ映画会「おむすびころりん」 「おぼ捨て山の月」		67人
9/25 (日)	「名もなく貧しく美しく」	脚本 松山善三 監督 松山善三	305人
10/23 (日)	「狐と狸」	原作 熊王徳平 監督 千葉泰樹	260人
11/27 (日)	「月山」	原作 森敦 監督 村野鐵太郎	300人

(3) 朗読公演会

月 日	事業名	演 題	講 師	参加者数
5/28 (土)	お話の森朗読会①		溝口朗読サークル	153人
7/23 (土)	お話の森朗読会②		清水章子他	103人
11/6 (日)	朗読公演会「楳山節考」		劇団芸協	400人

(4) 文学創作教室

月 日	事業名	演 題	講 師	参加者数
6/18 (土)	エッセイ教室 「エッセイ書いて人生をまるめる」		木村治美 (エッセイスト 英文学者)	150人
2/4 (土)	俳句教室 初心者向け俳句教室		瀧澤和治 (「白露」編集同人)	30人

(5) 子どもワークショップ

月 日	事業名	演 題	講 師	参加者数
7/24 (日)	暑中見舞いの書き方		杉野文香 (青少年ベンフレンドクラブアドバイザー)	51人
8/3・4 (水・木)	美術館との連携事業2 絵手紙教室			148人
8/19 (金)	美術館との連携事業3 下紙に使える消しゴムスタンプづくり		高橋裕子 (青少年ベンフレンドクラブアドバイザー)	50人
11/19 (土)	中高生～大人まで 太宰治作品朗読会		原きよ	110人
12/10 (土)	クリスマスお話し会		原きよ	107人
1/7 (土)	百人一首教室		清水章子 (竜王かるた会会長)	62人

(6) 学習ガイド

県出身又はゆかりの文学者、作品についての学習資料集を作成し、小・中・高等学校、各市町村立図書館等に配付したり、文学教室で活用する。平成23年度は、芥川龍之介の作品と生涯についての資料集を作成する。また、楽しみながら展示を理解できるように、ワークシートや展示クイズを作成し活用する。

(7) ジュニアインターンシップ（職場体験学習）・学芸員実習

7月27日～29日 高校生5名 特別支援学校生1名  
8月3日 中学生2名  
7月5日～10日 大学生7名

(8) 文学教室・解説

小学校 13校  
中学校 36校  
高等学校 28校  
大学校 6校 (小中高大 2,022人)  
一般 29団体 (一般 783人)

(9) 講師派遣事業

小学校 5校  
中学校 1校  
高等学校 6校 (小中高大 1,107人)  
一般 23団 (一般 1,253人)

(10) 深沢七郎パネル貸し出し

小中高校 14校 (7981人)

4. やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助として、小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門 : 坂上 弘 津島佑子 佐伯一妻  
評論部門 : 菅野昭正 高田 衛 十川信介

24年2月15日研究評論部門選考会 25日小説部門選考会  
3月14日表彰式  
6月小説部門受賞作単行本刊行

5. その他

共催事業 NHK朗読シアター 9/17(土) 403人

【平成24年度 教育事業について】(平成24年9月末)

1. 企画展・特設展関連事業

(1) 春の企画展 平成24年4月28日(土)～6月24日(日)  
「石川啄木 ～愛と悲しみの歌～」

月日	事業名	演題	講師	参加者数
5/20 (日)	講演会	「啄木の詩について」	講師 中村稔 (詩人・日本近代文学館名誉館長)	135人
6/3 (日)	文学講座	「わが愛詠 啄木十八首」 文学講座「啄木の手紙 展示資料より」	近藤信行(当館館長) 中野和子(当館学芸員)	103人
6/7 (木)	教師のための学習会		中野和子(当館学芸員)	16人
6/23 (土)	講演会	「啄木の短歌について」	講師 佐佐木幸綱(歌人)	400人

その他「啄木カルタ会」4回 83人

(2) 夏の特設展 平成24年7月21日(土)～8月26日(日)  
「フランダースの犬 ～愛と友情の物語～」

月日	事業名	講師	参加者数
8/3 (金)	「消しゴムはんこで犬のポストカードを作ろう」	高橋裕子(青少年ベンフレンド クラブアドバイザー)	50人
8/8 (水)	「しらぎあ言ってきかせよう! 体験!歌舞伎ワークショップ」	市川喜昇	55人
8/17 (金)	「大人も楽しめる!体験!『狂言』講座」	高野和憲	58人

(3) 秋の特設展 平成24年9月29日(土)～11月25日(日)  
「歿後50年 飯田蛇笏展 くらがねの秋の風鈴なりにけり」

月日	事業名	演題	講師	参加者数
9/30 (日)	講演会	「裏口に展がる世界」	宇多喜代子(俳人)	270人
10/7 (日)	鼎談	「飯田蛇笏を語る」	浅井一志(俳人) 和田知子(俳人) 廣瀬町子(俳人)	人
10/4 (火)	教師のための学習会		高室有子(当館学芸員)	人
11/1 (木)	「山廬を訪れた人々 —飯田蛇笏を巡る文人たち—」		高室有子(当館学芸員)	人

2. 教育普及事業(企画展・特設展を除く)

(1) 年間文学講座

期間	事業名	演題	講師(職名)	参加者数
5/24 6/21 7/19 8/23 9/13 10/18 11/15 12/20	文学講座1(全8回) 研修室	テーマ「源氏物語を読む」 木曜日 14:00～15:30	池田尚隆 (山梨大学 教育人間科学部教授)	650人
5/12 6/16 7/7 8/16 9/8 10/13 11/17 12/22	文学講座2(全8回) 研修室	テーマ「『夏目漱石』再読 —(近代的自我)と人間関係論の視点から—」 土曜日 14:00～15:30	小菅健一 (山梨英和大学教授)	625人
6/14 7/12 9/20 11/1 12/6	文学講座3(全5回) 研修室	山梨の文学 木曜日 14:00～15:10	文学館職員	110人

(2) 名作映画鑑賞会

月日	題名	原作者	参加者数
5/27 (日)	「夫婦善哉」	原作 織田作之助 監督 豊田四郎	350人
6/24 (日)	「泥の河」	原作 宮本輝 監督 小栗康平	280人
7/22 (日)	アニメ「宗谷物語 一南極への挑戦」	共和教育映画社	160人
8/19 (日)	児童劇映画「少年の日の思い出」	脚本 スロボタン・ストヤノビラチ	50人
8/4 (土)	人形アニメ「ミッフィーとお友だち」なかよしうれいな	(美術館ミッフィー展関連)	160人
8/11 (土)	人形アニメ「ミッフィーとお友だち」ふしぎねどうして?	(美術館ミッフィー展関連)	130人
9/16 (日)	「愛染かつら」	監督 野村浩将 出演 田中絹代	300人
10/21 (日)	「聖職の碑」	原作 新田次郎 監督 森谷司郎	人
11/11 (日)	「雪国」	原作 川端康成 監督 豊田四郎	人

## (3) 朗読公演会

月日	事業名	演題	講師	参加者数
6/9 (土)	お話の森朗読会①		溝口朗読サークル	120人
8/23 (土)	お話の森朗読会②		つるばみの会	120人
11/23 (金)	ひとりオペラ「樋口一葉恋の和歌」		台本・脚本 仙道作三	人

## (4) 文学創作教室

月日	事業名	演題	講師	参加者数
7/1 (日)	小説教室 「私の小さな本棚」		佐伯一麦 (作家)	91人
2/2 (土)	短歌教室 (一般)		三枝浩樹 (歌人)	人
2/15 (金)	短歌教室 (高校生)			人

## (5) 子どもワークショップ

月日	事業名	演題	講師	参加者数
8/3 (金)	「消しゴムはんこで犬のポストカードを作ろう」		高橋裕子 (青少年ベンフレドクラブアド バイザー)	50人
8/8 (水)	「しらざあ言ってきかせよう！ 体験！歌舞伎ワークショップ」		市川喜昇	55人
8/17 (金)	「大人も楽しめる！体験！『狂言』講座」		高野和憲	58人
7/14 (金)	昭和イオン四館夏休みコマーシャルイベント			100人
7/16 (金)	夏休みプロジェクト			300人
12/9 (土)	文学館でクリスマス		ステファノ・ヴィエロ	
1/5 (土)	百人一首教室		清水章子 (竜王かるた会会長)	

(6) 学習ガイド 県出身又はゆかりの文学者、作品についての学習資料集を作成し、小・中・高等学校、各市町村立図書館等に配付したり、文学教室で活用する。平成23年度は、芥川龍之介の作品と生涯についての資料集を作成する。また、楽しみながら展示を理解できるように、ワークシートや展示クイズを作成し活用する。

## (7) ジュニアインターンシップ (職場体験学習) ・学芸員実習

8月1日～3日 高校生4名 中学生6名  
 8月8日 中学生4名  
 8月8日～10日 大学生2名  
 8月17日 中学生4名  
 7月10日～15日 大学生3名

## (8) 文学教室・解説

小学校 3校  
 中学校 48校  
 高等学校 6校  
 大学校 5校 (小中高大 2119人)  
 ・一般 19団体 (一般 249人)

## (9) 講師派遣事業

小学校 8校  
 中学校 0校  
 高等学校 1校  
 大学校 1校 (小中高大 363人)  
 一般 9団 (一般 651人)

## (10) 啄木パネル貸し出し

小中高校 17校 (9077人)

## 3. やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助として、小説と、研究・評論の2部門が設けてある。

選考委員 小説部門：坂上 弘 津島佑子 佐伯一麦  
 評論部門：菅野昭正 高田 衛 十川信介

25年2月選考会  
 3月表彰式  
 6月小説部門受賞作単行本刊行

## 4. リーディングシアター2012 in 文学館

博学連携事業の一環として今年度からはじめた事業です。

新しい教育課程全面実施の中で現在各学校が教科を超えて取り組む『言語活動の充実』の一助として、小中学校の日頃の学習の成果の発表の場を作り、児童生徒の学習の目的意識や相手意識の構築をサポートすることを目的としています。

児童生徒がお互いの発表を聴き合い、また、大人の方にも聴いてもらう交流の場をつくり、朗読の楽しさを味わい、更に読書への興味・関心・意欲を育てることにねらいとして企画いたしました。

日時：平成24年12月8日(土) 1:30～

会場：文学館講堂

内容：小中学生の朗読発表・高校生の朗読発表

過去5年間教育普及事業 実施状況(平成24年9月末現在)

一般対象		H19	H20	H21	H22	H23	H24	小中高生対象		H19	H20	H21	H22	H23	H24
企画展関連 講演会・講座	回数	8	9	14	11	10	6	子ども映画鑑賞会	回数	2	2	2	2	3	4
	人数	828	1,534	2,197	1,076	1,382	1,015		人数	303	349	241	366	373	500
	平均人数	104	171	157	98	139	170		平均人数	152	175	121	183	125	125
企画展 ギャラリートーク	回数	30	47	53	49	31	19	子どもワークショップ (狂言教室・歌舞伎教室・短歌教室・消しゴムはんこ作り他)	回数	2	1	1	2	4	3
	人数	359	740	1,178	900	553	252		人数	44	35	30	110	249	163
	平均人数	12	16	23	19	18	14		平均人数	22	35	30	55	63	55
年間文学講座Ⅰ・Ⅱ 古典文学・近代文学	回数	16	16	16	16	16	10	お話の森朗読会	回数	3	3	3	3	2	2
	人数	1,311	1,252	1,332	1,441	1,802	1,275		人数	180	153	201	156	261	230
	平均人数	82	79	84	91	113	128		平均人数	60	51	67	52	131	115
年間文学講座Ⅲ (館職員による)	回数	6	6	6	3	3	3	小・中・高等学校・大学 展示観覧・解説	回数	31	31	44	68	73	60
	人数	302	312	375	158	169	110		人数	1,790	994	2,243	3,226	2,022	2,340
	平均人数	51	52	63	53	57	37		平均人数	58	32	51	47	28	39
朗読鑑賞会	回数	2	1	1	1	1		小・中・高等学校 講師派遣事業	回数	7	3	8	5	12	9
	人数	592	230	500	225	400			人数	720	190	810	1,109	1,107	363
	平均人数	296	230	500	225	400									
映画鑑賞会	回数	6	6	5	6	8	3	俳句創作プログラム (俳句短歌教室・百人一首教室)	回数			3	4	2	1
	人数	1,338	1,390	1,203	1,941	3,178	930		人数			94	169	210	91
	平均人数	223	232	241	324	398	310		平均人数			32	43	105	
文学散歩	回数	2	2	2	2	2		チャレンジ文学館 (夏休みチャレンジ文学館)	小中高				2,361	1,851	2,782
	人数	89	89	86	76	82			大人				60	32	175
	平均人数	45	45	43	38	41			合計	652	773	851	2,421	1,883	2,957
読書会	回数	10	10	10	10	10	5	企画展関連子どもカルタ会	回数						4
	人数	120	113	103	119	117	62		人数						83
	平均人数	12	12	11	12	12	13								
一般団体 展示解説 文学解説	回数	62	43	49	24	29	19								
	人数	5,329	895	723	389	783	249								
一般団体 山梨の文学 講師派遣事業	回数	10	16	17	20	23	13								
	人数	902	597	765	1,593	1,253	744								

過去5年間 教育課程による観覧者数(県内)

		H19	H20	H21	H22	H23	平成24年度												
							合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学校	学校数	1	1	12	17	14	3				2	1							
	人数	55	53	503	730	594	125				83	42							
中学校	学校数	16	17	17	30	37	39	7	22			1	9						
	人数	324	327	418	1,217	737	584	83	416			21	64						
高校	学校数	8	6	8	10	28	6		1			4	1						
	人数	690	409	727	469	530	283		6			19	258						
大学 特別支援	学校数	0	3	7	6	7	4	1	1			1	1						
	人数	0	41	595	298	84	175	155	15			3	2						
合計	学校数	25	27	44	63	86	52	8	24	2	3	14	1						
	人数	1,069	830	2,243	2,714	1,945	1,167	238	437	83	66	85	258						



## 平成23年度閲覧室事業実施状況

### ◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
<b>映画に魅せられた作家たち</b> 春の企画展「文芸映画のたのしみ」に併せ、多くの映画に原作が取り上げられてきた、谷崎潤一郎・泉鏡花・川端康成・三島由紀夫らの著作や関連資料を紹介する。また、映画評論を執筆した作家の資料も併せて紹介する。	平成23年4月29日(金) ～ 6月19日(日)
<b>文豪からのおくりものー子どもたちへー</b> 芥川龍之介らの文学者が、子どもたちのために著した作品を紹介する。併せて、『蜘蛛の糸』を始め、多くの名作が掲載された「赤い鳥」などの児童雑誌も紹介する。	平成23年7月8日(金) ～ 8月31日(水)
<b>深沢七郎の世界</b> 笛吹市石和町出身の作家・深沢七郎のデビューは42歳の時、「楢山節考」だった。以後「笛吹川」「甲州子守唄」「みちのくの人形たち」などの作品を世に送り出した。企画展に併せ、深沢七郎の作品や関連資料を紹介する。	平成23年9月10日(土) ～ 11月6日(日)
<b>芥川賞・直木賞と山梨の作家たち</b> 芥川賞と直木賞は昭和10年に制定、今日まで長い歴史を持つ文学賞である。山梨県出身作家では、芥川賞を小尾十三、直木賞を木々高太郎が初めて受賞した。山梨県出身・ゆかりの作家の、受賞作や候補作、関連資料を紹介する。	平成23年12月15日(木) ～ 平成24年4月15日(日)

### ◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展示名	展示期間
飯田蛇笏(4/26生)	平成23年4月22日(金)～5月13日(金)
山本周五郎(6/22生)	平成23年6月3日(金)～6月24日(金)
飯田龍太(7/10生)	平成23年7月6日(水)～7月27日(水)
辻邦生(9/24生)	平成23年9月7日(水)～9月28日(水)
山崎方代(11/1生)	平成23年10月28日(金)～11月16日(水)
中村星湖(2/11生)	平成24年1月25日(水)～2月15日(水)
芥川龍之介(3/1生)	平成24年2月23日(木)～3月15日(水)

### ◇特設展関連資料紹介

展示名	展示期間
樋口一葉	平成23年11月19日(土)～12月25日(日)

### ◇県立美術館特別展関連資料紹介

県立美術館特別展開催に併せ、関連資料を紹介する。美術館から文学館への誘客を図り、展示内容への理解・関心をさらに深める機会とする。

展示名	展示期間
川端康成の世界	平成23年9月16日(金)～11月6日(日)
浅川伯教・巧兄弟	平成23年11月18日(金)～12月25日(日)

### ◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成23年 6月18日(土)実施 参加者 35名  
 第2回 同 11月20日(日)・県民の日 参加者 72名  
 午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文学館検索システム端末操作説明

## 平成24年度閲覧室事業

### ◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
<b>石川啄木の世界</b> 石川啄木（1886－1912）は岩手県に生まれ、26歳2ヶ月で短い生涯を閉じ、今年で歿後100年にあたる。『一握の砂』『悲しき玩具』などの詩情あふれる作品は今も親しまれている。春の企画展にあわせて、啄木の作品や関連資料を紹介する。	平成24年4月27日（金） ～ 6月24日（日）
<b>みんなで読もう世界の名作</b> 「赤毛のアン」や「小公子」「小公女」、アンデルセンの童話など、よく知られている世界の名作は、童話や絵本となって今も読み継がれている。特設展にあわせ、子ども向けの世界の名作とその関連資料を紹介する。	平成24年7月21日（土） ～ 8月26日（日）
<b>飯田蛇笏一歿後50年－</b> 俳句雑誌「雲母」を主宰し、大正・昭和期に活躍した俳人・飯田蛇笏。現在の笛吹市境川町に生まれ、居所を「山廬」と呼び、生涯のほとんどをこの地で過ごした。特設展にあわせ、飯田蛇笏の作品や関連資料を紹介する。	平成24年9月29日（土） ～ 11月25日（日）
<b>やまなし文学散歩</b> 山梨に生まれ育ち、あるいは山梨の地に親しんだ文学者たちは、山梨を舞台とした文学作品をさまざまに生み出している。平成25年、国民文化祭が山梨県で開催されることにちなみ、山梨の文学に関わる作品や関連資料を紹介する。	平成25年1月14日（月） ～ 4月14日（日）

### ◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
木々高太郎（5／6生）	平成24年4月20日（金）～5月11日（金）
太宰治（6／19生）	平成24年6月6日（水）～6月27日（水）
飯田龍太（7／10生）	平成24年7月4日（水）～7月25日（水）
辻邦生（9／24生）	平成24年9月12日（水）～10月3日（水）
山崎方代（11／1生）	平成24年10月24日（水）～11月14日（水）
檀一雄（2／3生）	平成25年1月23日（水）～2月13日（水）
芥川龍之介（3／1生）	平成25年2月20日（水）～3月13日（水）

### ◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成24年 6月16日（土） 参加者 41名  
 第2回 同 11月20日（火） 県民の日 71名  
 午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文学館検索システム端末操作説明

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

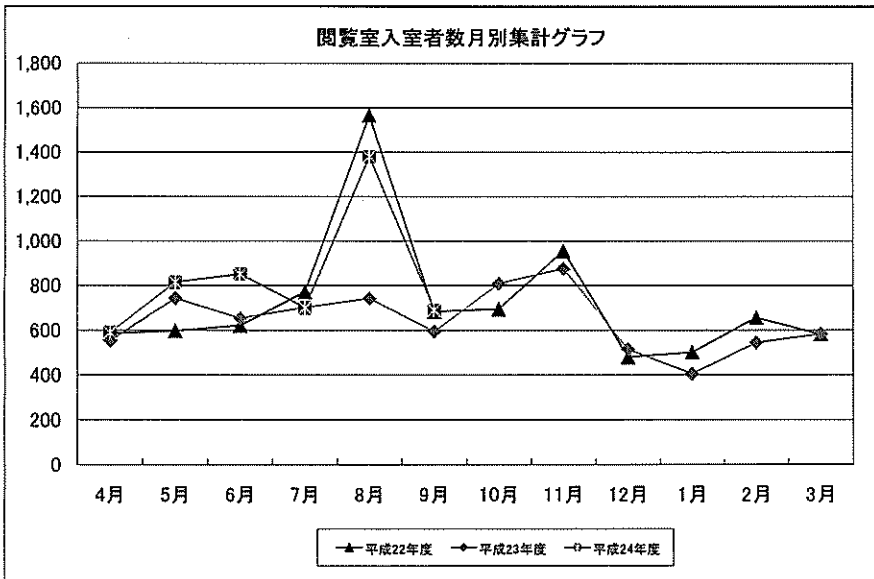
(H24.9.30現在)

	開館日数	入館者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧日数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数	HPアクセス件数
平成22年度	309	8,687	97	480	2,685	487	3,708	187	817	401	32,374
平成23年度	310	7,712	99	414	2,511	361	7,001	258	890	636	35,346
平成24年度	160	5,022	76	228	935	162	2,792	194	362	366	18,417

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (H24.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
平成22年度	586	597	620	771	1,565	683	694	955	479	501	655	581	8,687	28
平成23年度	552	743	652	701	742	593	808	876	514	404	544	583	7,712	26
平成24年度	589	814	851	700	1,379	689							5,022	31



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (H24.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成22年度	97	56	39	41	47	29	42	32	24	24	30	26	487	2
平成23年度	37	38	26	27	37	28	40	45	21	12	26	24	361	1
平成24年度	15	26	33	28	38	22							162	1

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (H24.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成22年度	398	316	324	315	140	134	513	564	251	235	595	110	3,895	13
平成23年度	353	1,015	742	181	747	462	523	989	1,244	169	374	460	7,259	25
平成24年度	951	343	408	406	526	351							2,986	19

ホームページアクセス件数(月別)

単位:件 (H24.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均アクセス件数
平成22年度	2,551	2,650	2,669	2,684	2,678	2,469	3,359	3,032	2,167	2,613	3,110	2,392	32,374	89
平成23年度	2,736	2,929	2,797	3,038	3,399	3,056	3,445	3,001	1,986	2,484	3,425	3,050	35,346	94
平成24年度	2,938	3,240	3,048	3,057	3,230	2,904							18,417	101

## 指定管理者上半期活動トピックス 【1】来館者獲得に向けて

「文学館・芸術の森公園」をPR

山梨県立文学館  
山梨県立美術館

毎日新聞 (4/27)

毎日新聞

全員広報

①「face to face」活動  
関係者全員でチラシ・ポスター掲示依頼

②4館合同広報  
イオンモールでの合同チラシ配布

③来館者への声かけ  
文学館施設利用者に対する声かけ  
美術館観覧者への両館共通券チケットの案内

●有料媒体を有効活用し  
県内外に向けた広報を展開

●文学館の関係者が  
一体となり広報活動を推進

1

## 指定管理者上半期活動トピックス 【1】来館者獲得に向けて

次世代育成への取り組み

- 博学連携を目指し、次世代育成の場としての美術館・文学館・芸術の森公園という恵まれた環境を最大限にPR
- 両館の教育普及担当者とも連携した活動を展開

山梨県立美術館・山梨県立文学館

年間168校、10,800名が学電い

県立トータル教育の場の中に  
美術館と文学館があり、  
丸ごと活用が何よりです。

誘致チラシを作成し  
県内外の学校団体約3,300カ所へ送付

3

## 指定管理者上半期活動トピックス 【1】来館者獲得に向けて

地域とのコラボレーション

①県内最大級のジュンク堂書店  
朗月堂書店との連携

石川啄木展開催時に両書店に  
啄木特別コーナー、文学館展示  
出口に書店協力のパネルを設置。

②山梨県書店商業組合との連携

啄木展からの継続活動として、  
書店商業組合加盟店40箇所  
で蛇笏展特別コーナーを設置

書店商業組合と共催で  
飯田蛇笏展記念俳句大会を実施  
ポスター・チラシと共に  
応募俳句の回収箱を各書店に設置

●両者に「WinWin」の連携を構築、継続した活動に

2

## 指定管理者上半期活動トピックス 【2】賑わいの創出

GWイベント (4/29~5/6)

ゴールデンウィークは  
芸術の森公園へ

GW期間中885名の参加者

アートツアー (4/29~6/26)

22日間47回で263名の参加者

母の日イベント (5/14)

母の日にカーネーションをお1人様1輪、  
美術館・文学館合せて先着100名にプレゼント  
(美術館80名、文学館20名)

七たワークショップ (6/9~7/7)

「願いのささ舟を天の川に浮かべよう」

美術館472名・文学館104名、計576名の参加  
7月24日に甲斐市の山縣神社に短冊を奉納

●来館を促すきっかけ作り+記事化によるPR

↑  
ニュースリリース配信とイベント前の個別連絡を強化

4

## 指定管理者上半期活動トピックス 【2】賑わいの創出

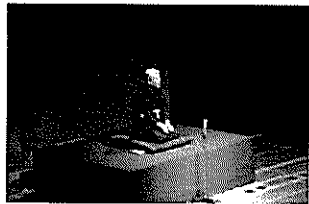
### ●落語ぶんがく亭

- ・山梨県立文学館の認知度を高める活動の一環として、文学と馴染み深い落語を「落語ぶんがく亭」と称し実施
- ・文学と落語の繋がりを県民に定着させ、文学館の広報に繋げていくためシリーズ化

第2回落語ぶんがく亭 6/4「柳家喬太郎独演会」

第3回落語ぶんがく亭 9/5「柳家三三独演会」

※地元企業であるテレビ山梨と合同主催、  
同じく地元企業さぶとん亭企画に協力を仰ぎ実施



5

## 指定管理者上半期活動トピックス 【4】施設の維持管理

### ①光熱費コントロール

#### ●節電への取り組み

- ・事務室の空調管理の徹底
- ・蛍光灯の間引き
- ・池の水入れ中止

#### ●電力会社の見直し検討

- ・東京電力からの料金単価の値上げ申請を受け、特定規模電気事業者への転換を検討  
⇒5社に依頼（4社からは見積もり拒否、1社の返答待ち）

### ②植栽管理

- ・菖蒲田の株分け作業の実施
- ・近隣住民等からの剪定要望にも順次対応
- ・落雷被害への対応  
(折れた樹木の伐採、電話機受信機の交換等)



7

## 指定管理者上半期活動トピックス 【3】ホスピタリティデザイン

「監視のフロ集団になる」⇒ひとりひとりがフロになるだけでなく  
チームワークをもってフロ集団になる  
「対話力」「寄り添い力」をコンセプトに、研修を計画

4/23 ワールドカフェ「印象に残ったサービスは？」  
避難訓練（自ら考動できるスタッフに）



7/9 文学館書庫見学  
お客様対応ロールプレイング

10月 半期振り返り  
12月 国民文化祭に向けての勉強会  
3月 年度振り返り



予定

●「サービス向上」⇒「ホスピタリティデザイン」へ

6

## 指定管理者上半期活動トピックス 【5】下半期の活動予定

### ●無料シャトルバスの運行

山梨交通・JR東日本の協力を得て、

10月・11月の日曜日、11月3日・11月20日に運行



### ●国民文化祭

文学館「至宝展」・美術館「ミレーコレクション  
の全て」を合同で大々的にPR

### ●文学館イベント

「落語ぶんがく亭」「呈茶」「寄席」の開催

### ●リサーチ調査の実施（案）

団体客や旅行会社の動向把握⇒団体誘致に向けての情報収集



8

県立美術館、文学館及び芸術の森公園に係る指定管理者制度について

○ 指定管理概要

対象施設：美術館、文学館及び芸術の森公園

対象業務：管理部門のみ（学芸部門は直営）

- 受付（発券、観覧料、監視など）
- 広報
- 施設維持管理 など

指定管理者名称：甲府市貢川一丁目4番27号

SPS・桔梗屋グループ

代表団体 甲府市貢川一丁目4番27号

株式会社SPSやまなし

代表取締役 眞鍋 清嗣

構成員 笛吹市一宮町坪井1928

株式会社桔梗屋

代表取締役 中丸 輝江

契約期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日 5年間

委託料限度額：1,952,875千円

○ 指定管理者制度導入効果

◇ 民間の専門的な情報や技術を活用した幅広い広報活動

- ホームページの充実
- 広報パンフレット設置場所の新規開拓（県内観光施設 など）
- 地元企業と連携した広報活動の展開（NHK甲府放送局、山梨日日新聞社、テレビ山梨、山梨交通、JR東日本、NEXCO など）
- テレビ番組放映招致（BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」、BS朝日「世界の名画」、テレビ東京「美の巨人」 など）
- 展覧会情報などを雑誌掲載（読売新聞東京版、旅サライ、夏びあ など）
- 団体誘致活動（観光商談会参加、学校向け誘致チラシの送付 など）

◇ 職員に対する研修の充実による利用者サービス向上

- 展示作品勉強会の実施
- サービス研修会の実施

◇ 自主事業の充実による利用者サービス向上

- 無料シャトルバスの運行
- 季節イベントの実施（GW、七夕、クリスマス など）
- アートツアーの実施
- 「落語ぶんがく亭」の実施

◇ アンケート結果による満足度の向上（十分との回答の割合）

	H20	H21	H22	H23
サービスの内容	72.7	78.4	82.5	81.7
施設設備の整備状況	80.4	84.1	87.6	88.0

○ 他都道府県の導入状況（参考）（H24.4現在）他都道府県調査より

都道府県立美術館所有都道府県数 44

指定管理者制度導入都道府県数 16（36.3%）

管理部門のみ導入都道府県数 5

山梨、岩手、富山、広島、山口

管理＋学芸部門導入都道府県数 7

秋田、東京、長野、京都、兵庫、高知、長崎

その他導入都道府県数 4

島根：管理部門の一部（受付・監視業務、施設維持管理業務）

岡山：管理部門の一部（施設維持管理業務）

熊本：分館の管理部門（学芸部門なし）

沖縄：管理部門＋学芸部門の一部

平成25年度以降指定管理者制度導入検討都道府県数 2

青森県、佐賀県

指定管理者の公募による選定スケジュール(案)(H26.4更新)

時期	項目	内容
24年度	～3月	募集要項等の検討 ○募集要項(案)、審査基準(案)の検討
25年度	4月	上旬 選定委員会委員の決定 ○選定委員へ依頼
		中旬 募集要項(案)・審査基準(案)作成
	5月	上旬 選定委員会の設置・第1回選定委員会開催(～中旬) ○審査方法等の協議 ○審査基準(案)等について委員会から意見聴取 ○募集要項の決定
	6月	上旬 公募開始(～8月上旬) ○HPで募集要項等を公表・周知 ○募集要項の配布開始
		上旬 質問の受付・回答(～7月下旬) ○募集要項等に対する質問の受付・回答 ○HPに随時掲載
	8月	中旬 業務・現地説明会等開催
		上旬 応募の受付(～下旬) 下旬 応募提案に対する一次審査 ○資格要件等の書類審査(事務局) ○応募書類を選定委員に送付 ○HPで一次審査結果を公表 下旬 (再募集)(～9月上旬) ○応募がなかった場合、募集期間を短縮して再募集
	9月	上旬 第2回選定委員会開催 ○二次審査 ○応募書類の審査 ○ヒアリング等の実施 ○応募団体の評価 (再募集の場合は9月下旬まで開催)
		中旬 第3回選定委員会開催 ○指定管理者の候補者及び次点の選定 ○選定理由及び選定されない理由
		中旬 選定通知 ○応募者に対する選定結果通知 ○HPで結果概要を公表準備
	10月	上旬 選定団体との協議(～中旬) ○限度額等
	11月	上旬 HPへの選定結果公表の準備 ○HPに募集ページに選定結果を公表
		中旬 仮協定書の締結 ○選定団体との協議(仕様書)
	12月	下旬 12月県議会 ○指定管理者の指定等の議決 ・公の施設の名称、指定管理者の名称、指定の期間 ・債務負担行為限度額
		指定管理者の指定 ○指定通知書の交付 ○HPで指定団体名等を公表
	1月	上旬 基本協定書 ○基本協定書締結
	2月	中旬 業務計画書承認(～下旬)
3月	上旬 H26年度年度協定締結(～4月1日)	
26年度	4月 1日	指定管理者による業務開始